

教育 おおらか・さわやか・きわやかな大崎の教育

問 教育委員会管理課 ☎476-1111(410)

◆土曜授業について

町では、月に1回第2土曜日に土曜授業を行っています。平成30年度は5月から3月まで年10回を実施する予定です。

<なぜ土曜授業をするの?>

子どもたちを取りまく社会的環境を踏まえ、学力向上や生徒指導の充実を図るために導入しています。また、子どもたちの生きる力をよりよく育むために豊かな教育環境を提供しています。

<土曜授業ってどんなことをするの?>

- 各学校の教育課題を踏まえたうえで、土曜日に実施することの利点を生かし、学校行事や地域の方との体験学習や平日の補足として通常の授業を行います。
- 土曜授業は、月1回(第2土曜日) 午前中3時間の授業を実施します。(給食はありません)
- 土曜授業は平日と同じ正規の『授業日』です。家庭の都合や所属している団体の行事などでお休みする場合は欠席となります。

※詳しい日程や授業内容については、各学校にお問い合わせください。



まびの窓おしえの庭

『食育』という言葉を 聞かれた事がありますか

No.47 医療法人迫田歯科クリニック
理事長 迫田 裕二

食育とはいろいろな経験を通じ正しい食事の仕方、食を選択する知識、適切な食の習得(食具、食器、食品、栄養など)、食の周辺、しつけや食文化など広い視野で食について学び考えることで、人が健康で豊かな生活を送れる力、生きるための基礎を育てることを目指しています。

特に家庭、学校、地域などのさまざまな場所で身に付けていきますので、成長著しい子どもの時期がとても大事なのです。また、この時期の食の経験が将来の偏食と大きく関係すると言われていました。

現在は各家庭のさまざまな事情から一家団らんの食事は消え、子どもが一人で食事をする機会(孤食)、食事を摂らない(欠食)が多くなり、そのため食事を通して家庭内教育の機会が少なくなりました。

家庭内で決まった時間に食事を摂る、好き嫌いをさせない、食材を残さないなどのしつけ、そして楽しみながら家族や仲間と一緒に食事を摂ることが子どもの情緒を育みます。また、食事時の態度・様子から子どもの精神、健康状態や学校生活で問題があるかないかの確認把握ができます。身近な食品に潜む安全性を疑う過剰な添加物(外国からの食糧輸入物)など食の危険性もあります。栄養、安全性を考えた食品を親が教える機会不足、あるいは親自身の知識、認識不足が特に発育中の子どもに与える影響は無視できません。偏った栄養や危険な食品を摂取していたことで肥満や学力・免疫力の低下のためアトピーやアレルギーを発症する子どももいます。

歯科領域で話をしますと、食べる場である歯、口腔は年齢とともに形と機能が大きく変化します。そこで、『噛む』ことは体にさまざまな影響を与えます。成長期の子どもたちは噛むことであごが発達し、しっかり噛めるようになると勉強、スポーツへの集中力が高まり力を発揮できると言われています。よく噛むことは脳に刺激を与えストレスを軽減させる働きがあります。しっかり噛んで食事をするのは脳の広い範囲を使う運動であり、脳の発達に重要な意義を持つことが示されています。

人は食物を口から摂り入れ、噛む、味わう、飲み込みことによって体に十分な栄養を摂取し心と身体の健康が維持できるのです。大切な我が子を守るために『ご家庭で食育を実践する力』を持つことをおすすめします。